

生物工学国際交流センター (ICBiotech)

海外フィールドスタディ S

令和 7 年度(2025 度) 募集要項

1. 授業の目的

本科目「海外フィールドスタディ S」は、受講生が在外研究を中心としたフィールドスタディに参加し、海外において自らの専門性を発揮するための基礎的な力を養うことを目的とします。準備から事後学習までの学習プロセスを受講生が主体的にデザインし実行することで、調整力・コミュニケーション力・柔軟性といった大学院修了後にプロフェッショナルとして活動するために必要な資質を養います。受講生には、多角的視点から社会を批判的に思考し、能動的に行動できる能力を身に着けることが期待されます。また「海外フィールドスタディ S」では、受講生がフィールドスタディで得た知識と経験を、自身の研究やキャリア形成に役立てられることを目的に、特定のテーマを設定いたします。また同じ分野に学ぶ海外の学生との協働や交流もフィールドスタディの重要な目的となっています。

注) 渡航先の危険情報・感染症危険情報のレベルに応じて、「海外フィールドスタディ S」は不開講もしくは延期となる可能性もあります。

2. 実習地域・期間

タイ・2025 年 8 月 8 日(金)～2025 年 9 月 16 日(火), 40 日間

2025 年 8 月 7 日(木) KIX 発/ 2025 年 9 月 17 日(水) BKK 発⇒2025 年 9 月 18 日(木) KIX 着

3. 履修条件・受講条件

(1) 選考と履修

本科目では、選考を経て参加が決定した者が履修登録、実習参加を行うものとします。

3 月 14 日(金) 「海外フィールドスタディ S 募集要項・履修申込書」を生物工学国際交流センター ウェブサイトに公開

履修申込の受付開始(履修申込の詳細は「7. 履修申込要領」を参照)

4 月 7 日(月) 15 時 履修申込み期限

4 月 14 日(月) まで 履修決定者に連絡

※上記日程は予定であり、都合により変更となる場合があります。

(2) 参加費用と奨学金について

本科目の海外実習については、JASSO からの奨学金等による費用の一部補助(2024 年度実績 140,000 円)があります。詳しくは 5 月上旬に開催予定の説明会で説明します。必要経費目安額は下記のとおりです。この金額から、補助額を除いた額が自己負担となります。なお、受講希望者が多く、奨学金等が不足した場合、所属研究室に補助額の一部をご負担いただくことがあります。履修にあたってはあらかじめ指導教員と相談下さい。必要に応じて指導教員

より、生物工学国際交流センターまでお問い合わせください。

(3) 成績が優秀かつ経済的に困窮している学生で、一定の家計基準（下表）を満たしている者には別途渡航支度金が支給される場合があります。詳しくはお問い合わせください。

給与所得のみの世帯	年間収入金額（税込）が 300 万円以下
給与所得以外の所得を含む世帯	年間所得金額（必要経費等控除後）200 万円以下

必要経費目安額（タイ） 約 230,000 円～360,000 円

※為替・燃油サーチャージ等の諸事情により、目安額は上下する可能性があります。

※国費留学生など外国籍参加者は、JASSO からの奨学金が受けられませんので、全額自己負担となる場合があります。

4. 定数

20 名程度

5. 講義内容

【到達目標】

- (1) 海外フィールドスタディの訪問先に関する情報を自ら収集し、課題を発見できるようになる。
- (2) 海外フィールドスタディの内容を計画、準備できるようになる。
- (3) 海外フィールドスタディにおいて、実践的な活動に積極的に参加することができる。
- (4) 海外において現地の人々や専門分野の異なる学生と経験を共有することにより、諸現象に対する多角的な視点を持ちながら協働できるようになる。
- (5) 海外での経験から学んだことを基に、自身の専門分野における研究やその後のキャリアプランにどのように活かすか思考できるようになる。

【本科目の内容】

●スケジュール

5 月上旬 説明会

5 月～7 月 事前学習

6 月～7 月 リスク管理についての講義、研究計画事前発表会、渡航直前オリエンテーション

●テーマ

「バイオエコノミーを先導するグローバルリーダー育成プログラム」

本プログラムは、バイオエコノミー・バイオテクノロジーをテーマとして、関連分野を専攻する日本・タイの学生を大阪大学と交流先 4 大学との間で相互に派遣・受入れを行います。ラボでの実習を中心として研究能力の向上を図り、バイオエコノミーの拡大に向けた取り組みについて、共同で協議して相互理解を深めます。大阪大学生物工学国際交流センターと大

阪大学大学院工学研究科が共同して実施し、タイの4つの大学からなるコンソーシアム（マヒドン大学理学部、モンクット王工科大学トンブリ（KMUTT）理学部および生物資源学部、カセサート大学理学部、チュラロンコン大学理学部）と連携して構築・実施する海外ラボ・スタディ・プログラムです。

対象は、バイオエコノミー・バイオテクノロジーに関連するテーマについて学ぶ大阪大学の博士前期課程及び後期課程の学生とします。研究科にとらわれずに、バイオエコノミーとバイオテクノロジーの研修に興味のある方を広く歓迎します（ただし受講希望者の所属部局と派遣先大学との間で、部局間交流協定が締結されていることが必要です）。

●事前学習（授業時間および実習出発前）

海外フィールドスタディの訪問先の歴史や地域事情、テーマについて学習します。また、フィールドワークの実践と倫理ならびにリスク管理に関する講義では、訪問先での行動に関する留意事項や安全衛生についての指導を行います。

●現地実習（8月～9月）

現地の大学で、自分の研究計画に基づき、バイオテクノロジーに関するラボでの実習を中心に研修を行います。また、現地日本企業の工場を訪問することを予定しています。実習期間中は、日々の学習活動の振り返りを参加者間で行います。また終了前に研修・研究の成果を発表します。

●事後学習（帰国後）

事前学習と現地実習を踏まえ、レポートの提出等によって研究の総括を行います。

6. 成績評価

- | | |
|----------------------------------|------|
| ・ 授業への参加（積極性、提出物など） | 30 点 |
| ・ 海外フィールドスタディへの参加（研究発表、報告、提出物など） | 50 点 |
| ・ 海外フィールドスタディ実施報告 | 20 点 |

7. 履修申込要領

指定のウェブサイトから「履修申込書」をダウンロードし、必要事項を入力後に印刷し、指導教員の署名を得たうえで、原本を添付書類と共に生物工学国際交流センター事務室へ提出してください。

添付書類

①TOEIC / TOEFL スコアシートの写し

②前年度の英文成績証明書（原本）

大阪大学工学部を卒業後、工学研究科へ入学した学生は、4月22日～学生証を持参し、工学研究科教務課にて「2024年度の英文成績証明書」を取得し提出して下さい。

他大学より大阪大学大学院に入学された学生と、他研究科に在籍する学生は、前年度に在籍した大学・研究科の教務課に問い合わせ取り寄せして下さい

③パスポートのコピー

有効期限内のパスポートが手元にない場合は、至急申請し入手次第提出して下さい。

工学研究科生物工学専攻の学生の履修登録は、履修者決定後に生物工学国際交流センターより一括して教務課学生支援係へ依頼します。

【履修申込書掲載 URL】

<http://www.icb.osaka-u.ac.jp/>

※工学研究科の学生で、生物工学専攻以外の専攻所属の方は、「他専攻の授業科目履修申請書」を所属専攻に提出の上、上記7の履修申込要領に沿って履修申込みをしてください。

※工学研究科以外の研究科所属の学生は、申込前に当センターまで問い合わせをして下さい。

その後「他研究科等の授業科目履修申請書」にあたる書類を所属研究科に提出の上、上記7の履修申込要領に沿って履修申込みをしてください。

※登録単位数に上限を設けている研究科もありますので、ご注意ください。

【履修申込み締切り日時】 2025 年 4 月 7 日（月）15 時

8. その他

研究を実施する大学・宿舎の手配・部屋割り・派遣研究室の割り当てについては、参加者の希望聴取を行います。全員のご希望には添えない可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

プログラム終了後、タイ等からの留学生が来日し研修を受ける際に、お手伝いを依頼することがあります。

最後に、大阪大学の学生としてふさわしくない行動をした場合、研修の途中でも帰国を命じることがありますので、くれぐれも恥ずかしくないよう行動して下さい。

9. 参考資料

以下の URL に過去の海外フィールドスタディ（海外留学支援制度）の様子が掲載されていますので、ご参照ください。

<http://www.icb.osaka-u.ac.jp/on-going-2/>

10. 問い合わせ先

生物工学国際交流センター・事務室

icbjim[at]icb.osaka-u.ac.jp

※[at]はアットマークに変換してください。

※件名は「海外フィールドスタディ S 問い合わせ」としてください。